



ぽかぽか



日頃より、本校への教育活動にご理解・ご支援くださりありがとうございます。

4月17日(木)に実施した全国学力・学習状況調査について、本校の調査結果、並びに成果と課題について報告いたします。

全国学力・学習状況調査とは…

全国学力・学習状況調査は、小学6年生と中学3年生を対象に行われています。文部科学省や教育委員会が全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることが目的です。学校には、児童への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることが求められています。

この調査は、「教科に関する調査」と、生活習慣や学習環境に関する「質問紙調査」で構成されています。「教科に関する調査」は、知識・技能、思考力・判断力・表現力等は、相互に関係し合いながら育成されるものという学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎知識と活用力を一体的に問うように構成されています。本年は、国語と算数に加え、3年に1度の実施である理科の調査も行われました。

本校の調査結果と課題

1 国語から (下の表は、領域ごとの正答率を全国、静岡県と比較し、記号で表したものです。)

☆☆☆高い (5%以上) ☆☆☆やや高い (2.5~5%) ☆同程度 (0.1~2.5%) ・同じ
★★★低い ★★やや低い ★同程度

国語	知識・技能			思考力・判断力・表現力		
	言葉の特徴や使い方	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
全国との比較	★★★	☆	☆☆☆	☆	★	☆☆
県との比較	★★	☆	☆☆☆	☆	☆	☆☆

「言葉の特徴や使い方」「書くこと」以外の項目において、全国や県を上回っています。特に「我が国の言語文化」では、時間の経過による言葉の変化や、世代による言葉の違いに気付くことができていました。また、「読むこと」では、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えたり、事実と感想、意見などとの関係について叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握したりすることができていました。自分の考えを文章や図に書き表すことや、逆に友達の考えを文章や図から読み取る経験を積み重ねてきていること、文章の描写をもとに想像しながら読む経験を積み重ねていることの表れだと考えます。

「書くこと」は、全国の数値を下回りましたが県の数値は上回っています。書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることに少し課題が見られました。その他、以下のような課題が浮かび上がりました。

≪「言葉の特徴や使い方」領域の課題≫

漢字を、文の中で正しく使うことに課題が見られました。('好み' '暑い')を漢字で書く問題でした。) 無答も全国や県に比べて2倍程度多くありました。

「書くこと」領域を苦手に行っているのは、例年の傾向としてあります。授業の中や家庭学習で、文章を書くことを課題とするなど、力を付けるための方策をとっていますが、今後も継続していきます。漢字を文章の中で適切に使うことについては、学習した漢字を進んで使うことができるよう、その都度声を掛けるなど、指導を継続していきます。

2 算数から（下の表は、領域ごとの正答率を全国、静岡県と比較し、記号で表したものです。）

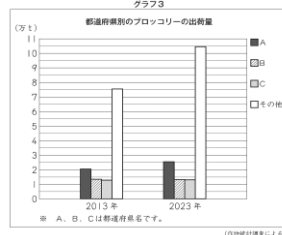
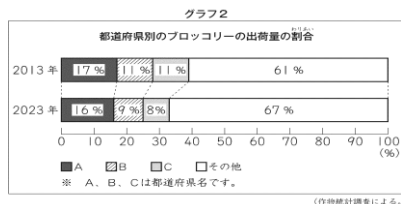
☆☆☆高い（5%以上） ☆☆やや高い（2.5～5%） ☆同程度（0.1～2.5%） ・同じ
★★★低い ★★やや低い ★同程度

算数	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
全国との比較	★	☆☆☆	☆☆☆	☆	☆☆
県との比較	☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆	☆☆☆

多くの項目で全国・静岡県より高い正答率になっています。
「データの活用」領域では、以下のような課題が上がりました。

《「データの活用」領域の問題》 全問題で一番正答率が低かった問題です。

問題：あいりさんは、自分たちが住んでいる都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかを調べています。調べていると、2013年と2023年について、グラフ2とグラフ3を見つけました。



グラフ2とグラフ3を見つけたけど、どちらか1つのグラフを見れば、都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、ふえたかどうか分かります。

2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、2013年より増えたかどうかを下のアとイから選びましょう。また、そのわけを、言葉や数を使って書きましょう。そのとき**どちらのグラフのどこに注目したか**分かるようにしましょう。

ア 2023年は2013年より増えた。 イ 2023年は2013年より減った。

3割強の児童が「イ」を選んでいます。「割合」と「出荷量」の意味理解が不十分であると考えられます。また、選んだわけを記述する際に「どちらのグラフのどこに着目したか」という条件を満たしていない回答をしていた児童も3割強見られました。問われていることを的確に読み取り、条件と結び付けて考える力を付けていけるよう、授業の中で指導を重ねていきます。

3 理科から（下の表は、領域ごとの正答率を全国、静岡県と比較し、記号で表したものです。）

☆☆☆高い（5%以上） ☆☆やや高い（2.5～5%） ☆同程度（0.1～2.5%） ・同じ
★★★低い ★★やや低い ★同程度

理科	「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域
全国との比較	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆☆
県との比較	☆☆	☆☆	☆☆☆	☆☆☆

全ての領域で、全国、静岡県よりとても高い正答率になっています。これは、3・4年生で理科専科の教員が授業を行い、指導を積み重ねてきたことの成果が出ているものだと思います。

「エネルギー」領域では、以下のような課題が上がりました。

《「エネルギー・粒子」領域の問題》

問題：アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。

- 1 電気を通し磁石に引き付けられる。 2 電気を通し磁石に引き付けられない。
3 電気を通さず磁石に引き付けられる。 3 電気を通さず磁石に引き付けられない。

答え：アルミニウム2、鉄1、銅2

アルミニウム、鉄、銅は電気を通すか、磁石に引き付けられるかを選ぶ問題でした。7割以上の児童が3、4を選び、電気を通さないと回答していました。また、1割強の児童がアルミニウムか銅に1を選び、磁石に引き付けられると回答していました。理科は、実際に試してみる(実験、経験など)ことが大切な教科です。授業の中でもできる限り実験をし、五感で感じることを大切にしていきたいと思います。

3 学習状況調査（児童質問紙）から

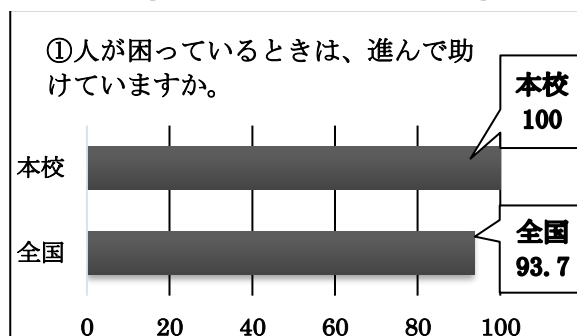
（１）本校の子どもたちは？ 全国平均と比べてみると・・・

右の①のグラフから、富士見台小学校の６年生は、助け合いのある生活の中で育ってきていることが分かります。また、②のグラフからは、誰かにしてもらったことを返していこうという気持ちが育っていることも伝わってきます。これは、これまでの家庭環境や地域環境のよさが育んできていることだと思います。サポーター活動・すまいる活動など、地域と学校とが連携して、子どもを育んできていることの表れでもあると感じています。

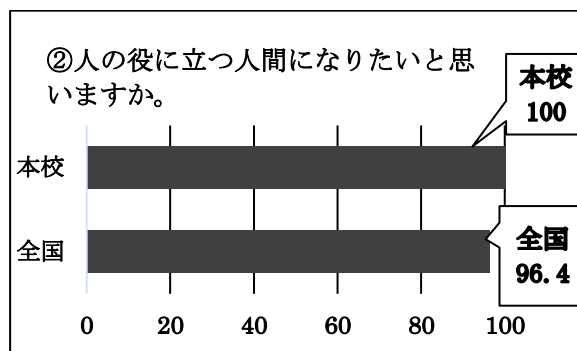
下の表③からは、学級活動など自主的な活動を通してお互いの考えを認め合いながら、自分の考えを深めたり新たな考えに気付いたりすることができていると分かります。また、下の表④⑤からは、読書が好きで、楽しんでいる児童が多くいることが分かります。学校図書館司書を中心に読書の楽しさを伝えてきたことや、読書月間の取組などから、よい結果につながったと考えられます。引き続き継続した指導を続けていきます。

それに対して、下の表の⑥⑦からは、タブレットを活用して情報を整理したり、資料を作成したりする力に課題があることが分かりました。PCを使って情報を整理し資料を作成することは、これからの社会を生きていく上で大切な力の一つになると思います。これまでも指導をしてきていますが、学校生活の中で、ICTを活用する力を育んでいけるよう、指導方法を改善していきます。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合）



（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合）



上記のほか、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」割合が特に高かった項目	上記のほか、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」割合が低かった項目
③学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考えに気付いたりすることができていますか。 （本校：91.9% 全国：84.9%） ④読書は好きですか。 （本校：81.6% 全国：69.7%） ⑤月～金までに1日当たりどれくらい読書をしましたか。（30分以上する児童の割合） （本校：44.9% 全国：31.1%）	⑥あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図・表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると感じますか。 （本校：57.1% 全国：69.3%） ⑦あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表の資料）を作ることができると思いますか。 （本校：57.1% 全国：76.7%）

（２）富士市の子どもたちの結果や傾向などを分析した家庭用リーフレット

以下のURL又は二次元コードから市ウェブサイトへアクセスしてください。

【URL】 <https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kyouiku/c0205/fmervo00000020ty.html>

【二次元コード】



4 まとめ

(1) 学校で取り組んでいくこと

今回の調査では、以上のような成果と課題が明らかになりました。課題に対して、本校では今後、以下のことについて、引き続き力を入れて取り組んでいきます。

国語科

- ・自分の伝えたい内容を正しく相手に伝えるための語彙力を身に付けたり、条件に沿って文章を書いたりすることに努めます。また、漢字を正しく使えるように声を掛けていきます。
- ・文章を正しく読み取る読解力を身に付けることや、読み取ったことを情報として整理することを大事にしています。

算数科

- ・基礎・基本を低学年から系統的に積み重ねていきます。
- ・問題場면을正確に理解するため、低学年では具体物や絵で表し、中学年から高学年では図や数直線などに表して考える習慣が身に付くよう、引き続き指導の場面などを設けていきます。
- ・自分の考えを伝える時間（クラス全体、ペアやグループなど）を低学年から積み重ね、思考力・判断力・表現力の育成につなげます。

理科

- ・自然事象への興味関心を高めたり、不思議だなと思う気持ちをもったりする場面を大切にしています。
- ・これまでと同様に「課題（問題）→予想→計画→実験→結果→考察→結論」という学習の流れに沿って学びを進めていきます。

学習全般（国語に限らず、いろいろな教科や場面で）

- ・どの子も力を付けていけるように、落ち着いた学習環境をつくります。
- ・学習の意図や意味を理解し、目的をもって学習に向かう力を付けていきます。
- ・子どもたちの思いや願いを大切に、生活に結び付くような学習展開を工夫していくことで、自分から学びを深めていける力を育てます。
- ・授業のまとめなどで、条件に合った文章（キーワードを使う・字数制限など）を書く機会を増やし、表現力を付けていきます。また、複数の資料を読み取ってまとめる力を育てます。
- ・タブレットを活用し、資料を整理したりまとめたりする力を育てていきます。

(2) ご家庭で取り組んでいただきたいこと

①引き続き、家庭学習に取り組ませてください。できる限り、見届けをお願いします。

学校で学んだことを家で学習することで、学力が定着します。宿題が確実にできているか、ご確認ください。もし、困っているようでしたら、手助けをしていただいたり、担任に様子を知らせたりしてください。学校と家庭が連携して、児童の力を伸ばしていきたいと思えます。

②いろいろな本に親しむ機会を増やしてください。

富士市では、「1日30分以上読書をしている。」ことができることを目標に掲げて、学校図書館の整備をしています。全小中学校に学校司書を置き、とても使いやすく明るい学校図書館となっています。学校では、今後も学校図書館の利用を進めたり、家での読書量が増えるよう週末の宿題や読書月間の取り組みをしたりしていきます。日頃から、ご家族皆様で本に親しむ時間をつくっていただけたらと思います。

③お子さんとたくさん話をしてください。（ぼかぼか言葉で）

家の人と話をすることで、お子さんの気持ちも安定し、学習への意欲も高まります。一緒に家の仕事をするこも、よい経験になります。今後も引き続き、お願いいたします。